

体外衝撃波治療(予約制)について

体外衝撃波とは

腱炎・靭帯炎など多くの疼痛疾患の除痛を目的とした治療に使用されています。
外来通院で施術でき、1回の治療は10～15分程度で、入院や運動制限は不要です。
治療中は痛みを伴いますが、副作用はほとんどなく治療後も歩行可能です。
まれに皮下出血・発赤などありますが、いずれも一時的です。
欧米中心に普及し、スポーツ選手がこの施術を受けることも多く、
低侵襲で安全かつ有効な治療として広く認められています。

対象となる疾患

日本国内では難治性足底腱膜炎に対し、保険が適応されています。
下記の疾患が対象とされています。

- 【 足 部 】 足底腱膜炎・アキレス腱炎・アキレス腱付着部炎
- 【 膝 】 膝蓋腱炎
- 【 肘 】 上腕骨外側上顆炎・内側上顆炎
- 【 肩 】 石灰沈着性腱板炎・腱板炎
- 【 骨 折 】 偽関節・疲労骨折
- 【 その他 】 早発の離断性骨軟骨炎・早期の骨壊死

治療の特徴

- ☆ 1回の治療は時間は約10～15分です。一定の期間をおき、複数回の照射を行います。
- ☆ 麻酔などは不要です。
- ☆ 傷跡は残りません。
- ☆ 治療後には治療前と同様にすぐに歩行が可離です。

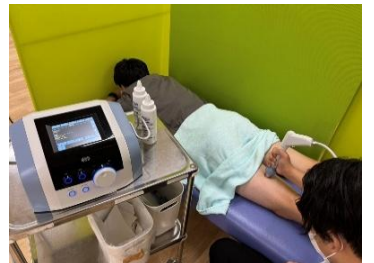
Q&A

☆ 治療回数は何回ですか？

一般的に2～3回の繰り返し治療で治療効果が確認されています。

☆ 治癒効果はどれくらいですか？

体外衝撃波による治療は、完全なる除痛を保証するものではありません。
患者様により治療効果や治療期間が異なります。
平均治療効果は60～80%と報告されています。



☆ 考えられる有害事象は何ですか？

以下の有害事象が考えられます。

- 腫脹、発赤、血腫
- 点状出血
- 疼痛
- コルチゾン治療を受けた部位での皮膚損傷

アメリカでの治標データでは有害事象に関しては、治療時の痛み、不快感、腫脹など既知の有害作用が観察されたのみで、皮膚赤色、照射皮膚面の痣形成、血腫、点状出血、癒痕形成などの重篤な副作用はありませんでした。

体外衝撃波と超音波の違いは何ですか？

超音波は出力を強くすると、熱を発生するため、出力を強くすることができません。

体外衝撃波はほとんど熱を発生しないため、出力を強くすることが可雑です。

また、超音波は深部に及ぶにつれて、減衰しますが

衝撃波は減衰しないため、深部に照射することが可雑です。



ご予約について

- ・完全予約制となっております。ご希望の方は、まず当院医師に受診下さい。
受診後に医師の指示のもと予約制となります。

保険診療

難治性足底腱膜炎(治療後6ヵ月経過しても症状の残存する足底腱膜炎)の治療のみ
保険診療が適応になります。初回治療時に下記負担金をお支払い頂きます。

窓口負担額(一連につき) 3割負担 15,000円

2割負担 10,000円

1割負担 5,000円

※初・再診料+リハビリテーション料は別途

※「一連」とは、治療の対象となる疾患に対して、

当初予定されている治療計画が終了するまでのことです。

治療計画は医師が症状を確認して決定いたします。

自費診療

足底腱膜炎以外の治療は自費診療となります。

窓口負担額 5,500円 /回

※2回目からは医師が症状を確認して決定します。

※初・再診料+リハビリテーション料は別途ご負担いただきます。

※当院は体外衝撃波治療の料金を予約診療料として頂いております。